

県境不法投棄現場再生事業に関する県議会予算特別委員会での質疑について

現在開催されている 2 月定例会の予算特別委員会において、日本共産党の斉藤信委員から質問がありました。主な質問と答弁は次のとおりでした。

県境不法投棄現場再生事業について

Q 1 . 10 年度までの進捗状況と処理量はどうなっているか？

A 1 . 県境不法投棄現場の廃棄物の処理については、本年度における 1 月末までの処理量は、4 万 5984 トンで、年度目標 4 万 8 千トンの 95.8% となっており、累計の処理量は 27 万 3689 トン、推計総量 32 万 4320 トンに対する進捗率は 84.4% となっております。

(下欄に 2 月末現在の状況を掲載しています。)

また、土壌汚染対策については、平成 19 年度から浄化を実施していた、いわゆる N 地区において、今年度に予定の対策工事を完了できる見通しであり、残り 7 地区の浄化についても、12 月に対策工事の契約を締結し、着工したところです。

Q 2 . 青森県側の取り組み状況はどうなっているか？

A 2 . 青森県側の取組み状況については、本年度における 1 月末までの廃棄物処理量は、20 万 3 千トン、累計の処理量は 73 万 3 千トン、推計総量 124 万 5 千トンに対する進捗率は 58.8% と聞いていますが、新たな廃棄物を確認したことに伴い、撤去完了は 1 年程度延びる見込みと聞いています。

Q 3 . 青森県との協議状況はどうなっているか？

A 3 . 本県と青森県とは、全量撤去の基本的な方針のもとで、それぞれの実施計画に基づいて事業を実施しているところですが、定期的な連絡会議や随時の調整を行い、協力して進めています。



第 45 回原状回復対策協議会を開催します。

どなたでもご自由に傍聴できますので、皆様のご来場をお待ちしております。

日時 平成 23 年 3 月 19 日（土）午後 2 時 10 分

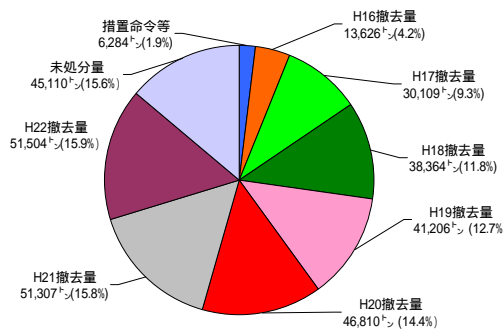
場所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室（二戸市石切所字荷渡 6 - 3）

廃棄物の撤去状況について（平成 23 年 2 月末現在）

表：22年度の月別撤去量

	撤去量(トン)
22年4～9月	25,709
22年10月	5,634
22年11月	6,025
22年12月	5,614
23年1月	2,996
23年2月	5,526
合計	51,504

平成22年度撤去目標 48,000トン



2 月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、279,210 トン（86.1%）を撤去しました。

撤去状況の数字は、小数点以下の端数処理をしているので、合計値が合わない場合があります。